

令和6年第12回教育委員会定例会 議事録

1. 教育長あいさつ

各学校では、2学期のまとめの時期となりこれまでの教育活動の評価をしておられることと思います。子どもたちの今学期の成長や課題を教職員で共有しながら、指導支援に生かしていかれるよう期待しております。

11月7日(木)に今年度2回目の働き方改革推進委員会が開催されました。内容としては、前回1回目の振り返り、11校の実践事例報告、働き方改革挑戦校の取組、勤務実態調査依頼、そして今年度発出予定の働き方改革メッセージの配布について協議されました。

11月10日(日)益田市のグラントワにて「拉致問題を考える国民の集い in 島根」が開催されました。家族会代表をされている横田めぐみさんの弟拓也さんが来県され、「北朝鮮よ、姉めぐみを返せ」と題した講演をされました。また、中学生による意見発表を青陵中学校3年生寺井蔵人さんが「私たちになにができるか」と題して発表しました。2年生でのアニメ「めぐみ」を視聴した学習を通して考えたことを述べられました。当日の集い全体をYouTubeによる動画配信していますので、どうぞご覧ください。

11月13日(水)には県市町村教育長会議・学力育成会議が開催されました。議題としては、教職員の働き方改革、基礎学力の育成策としてたつじんテスト、幼小連携・接続の推進、GIGAスクール構想推進協議会では、学習者用一人一台端末のOSについて協議がなされました。本市としては、引き続きWindowsで更新することとしました。

統合小学校については、11月14日(木)に川波小学校保護者、25日(月)に津宮小学校保護者及び地域、明日29日(金)川波小学校地域への説明会を実施。現在の進捗状況と今後のスケジュールを説明し、参加者の皆様からご質問やご要望を聞いております。

最後に、昨日川波小学校にて、第2回江津市幼小合同研修会が開かれ約20名の保育所・こども園からの参加者、約10名の小学校1年担任が参加されました。第1回目は10月9日に渡津保育所を会場に幼小合同研修会が開かれ、今回が小学校会場で2回目としての開催でした。川波小の1年生の生活科の授業公開があり、県教委指導主事による指導助言がありました。架け橋期のカリキュラム作成を目指しての協議の時間もあり、大変充実した内容でした。

本日も、慎重なる審議、また忌憚のない意見交換や質問をお願いいたします。

2. 教育長の報告（別紙 教育長勤務報告のとおり）

3. 議事録署名議員

○教育長

本日の署名委員は、佐々木委員と天倉委員にお願いします。

4. 議決事項

① 指定校変更(校区外就学許可)について（新1年生分）1件

○大石課長より説明

<委員からの質疑等>

○保護者の体調面が主な理由になっており、この理由で卒業まで認定するのはどうか。

認定を卒業までとせず、1年という条件付きであれば認めてもよいのではないかと。

<全員一致で承認>

ただし、2年生に進級するまでの1年に限り認める。

② 指定校変更(校区外就学許可)について (在校生分) 3件

○大石課長より説明

＜全員一致で承認＞

③江津市教育委員会処務規程の一部を改正する規則制定について

○大石課長より説明

教育委員会の課長の出張等の旅行命令について、市長部局と同様に泊りを含む出張についても参事決裁に変更するもの。

＜委員からの意見・質疑なし＞

④江津市立小、中学校の教職員の服務規則の一部を改正する規則制定について

○大石課長より説明

刑法等の改正により、懲役及び禁錮が廃止され、拘禁刑が創設されたことに伴い、所要の改正を行うもの。

＜委員からの意見・質疑なし＞

⑤令和5年度江津市教育委員会 点検・評価について

○大石課長より説明

本日の議決後に12月議会の情報交換会で議員に報告予定。

＜委員からの意見・質疑なし＞

⑥江津市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

○大賀課長より説明

委員である能美一政氏が6月に死去されたことに伴うもの。後任は花田有二氏(江津市医師会会長)

＜委員からの意見・質疑なし＞

5. 協議事項

① 所管施設の廃止について

○大賀課長より説明

R7.3.31をもって用途廃止を検討している施設

- ・水の国 (H30 年度より休館中)
- ・松林宗恵映画記念館 (H30 年度より休館中)
- ・桜江第1柔剣道場

この3施設については、今年度末に設置条例を廃止予定

＜委員からの質疑等＞

○佐々木委員

所蔵品について、常時展示できるような場所があれば理想的だが、そのためにはそれなりの建物が必要になりお金もかかる。所蔵品が置き去りにされないように検討してほしい。

○大賀課長

水の国には現代アートの展示品が多く、建物に附属しているものも多い。

今回、施設を廃止するにあたり、製作者の方になるべく連絡を取り、展示品をどうするか意向をうかがっている。作者には敬意を払い、慎重に対応していきたい。

○佐々木委員

教育委員会が所管している施設についても（学校訪問のように）見学に行く機会があるとい

い。

○大賀課長

できれば施設を廃止するまでに教育委員の皆さんに見て回る機会を設けたい。

6. 報告事項

① 相談箱の投函に係る対応等について

○大石課長より説明

1件相談箱に入っていたが、内容をみると生徒による投函ではなく、保護者が書いたものであった。

該当の学校長と相談し、対応をした。生徒からの投函はここ2年ない。

<委員からの意見・質疑なし>

②12月補正予算について

○大石課長より説明(学校教育課のみ補正あり)

- ・小学校教育施設整備事業
- ・西部統合小学校建設事業
- ・学校支援員等配置事業（小・中学校費）
- ・物価高騰対策費（学校給食費）

【追 加】

学校支援員について

○天倉委員

支援員が足りていない学校と多い学校があるように感じる。配置のバランスを考える必要があるのではないか。

○大石課長

基本的には学校の要望により配置している。

指定校変更について

○天倉委員

来年度中学校に入学する児童からの申請はまだ出ていないのか。

○大石課長

学校には、6年生の就学先について確認をするようにというお願いをしているが、まだ正式には上がってきていない。

県学力調査について

○天倉委員

来年度から県の学力調査がなくなると聞いているがどうなるのか。

○教育長

来年度以降、県は学力調査を行わない代わりに「たつじんテスト」を19市町村教育委員会と県で、2分の1ずつ費用を出し、全県的にやっていくという方針。

本市においては、県の学力調査がなくなる代わりに、市の学力調査として県がやっていた部分を実施していく方向で予算要望をしている。

午後3時06分終了